

資料 2

第 4 回障害者福祉計画策定・推進委員会での意見に対する考え方

番号	項 目	意 見	考え方
1	障害者福祉の主な課題	障害者虐待等の防止 虐待について課題認識が足りない。障害児に対する児童虐待について、明確に書くべきである。	資料のとおり修正しました。 資料 1 P54
2	障害者計画の施策	雇用・就労機会の拡充 「法定雇用率の達成と民間事業主の率先垂範となるよう努めます。」とあるが、「努めます」よりは、「進めます」とはっきりと記載したらどうか。	提案のとおり修正しました。 資料 1 P60
3	障害者計画の施策	障害者虐待等の防止 虐待について障害者しか記載がないので、障害児について別を書いてほしい。	資料のとおり修正しました。 資料 1 P66
4	障害者計画の施策	発達障害者に対する個別相談体制の充実 「心理士等」とあるが、「心理専門職等」と修正してほしい。	提案のとおり修正しました。 資料 1 P67
5	障害者計画の施策	理解促進、啓発活動の推進 ピアサポーターの活用は、市は既に活用しているので、「ピアサポーターなどを活用することを検討する。」ではなく、「活用している」ではないか。	以下のとおり修正しました。 資料 1 P70 「啓発活動にあたっては、 <u>ピアサポーターなどを活用することを検討します。引き続きピアサポーターを活用していきます。</u> 」

番号	項 目	意 見	考え方
6	障害者計画の施策 障害のある人の住まいの支援	公営住宅の空室活用を削除されているが、再考してほしい。保証人がいなくて困っておられる場合があります検討してほしい。 民間の空き家の活用についても記載をすればどうか。	以下のとおり修正しました。 資料1 P75 【変更前】 グループホームの整備を支援するとともに、地域の障害に対する理解の促進に努めます。 障害のある人が円滑に住まいを確保することができるよう、豊岡市障害者自立支援協議会と連携を図り、不動産業者へ情報提供し、「入居支援のしおり」を活用した支援を行います。 また、自立して暮らしていくための住まいの支援について調査、研究を行います。 【変更後】 障害のある人の円滑な住まいの確保に向けての取組や、自立して暮らしていくための住まいの支援についての調査、研究を行います。 ○グループホームの整備支援 ○公営住宅の空室活用の検討 ○家賃債務保証制度の周知 ○「入居支援のしおり」を活用した支援 ○空き家の活用の検討 ○住まいの確保にあたっての地域の障害に対する理解促進

番号	項 目		意 見	考え方
7	第6期 障害福祉 計画	地域移行支 援	長期入院の記載があるが、入院期間に関 係なく必要な人たちが使えるように、書き 方を配慮してほしい。	以下のとおり修正しました。 資料1 P88 【見込量設定の考え方】 地域移行支援では、<u>長期入院からの地域移行は減少してい ることから、高齢の方や支援が困難な方が多くなると見込 まれますが、2020 年度の実績見込値を計画値として設定し ています。確保することとしました。</u> 【見込量確保のための方策】 兵庫県豊岡健康福祉事務所が開催する精神障害者地域移 行・地域定着戦略会議の取組みに歩調を合わせ、地域移行支 援・地域定着支援の対象者を把握し、<u>対象者が安定した地域 生活に移行・定着していけるよう</u>適切なサービス提供に努 めます。